

| コード | 名称 | 区分 | コード | 名称 |
|-------------|--------------------------|----------|-----|---------------------|
| 事業名 | 119-1 美術展覧会運営経費(市民美術展覧会) | 会計 | 01 | 一般会計 |
| | | 款 | 02 | 総務費 |
| | | 項 | 01 | 総務管理費 |
| 基本施策 | 35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む | 目 | 07 | 文化振興費 |
| | | 細目 | 128 | 文化振興経費 |
| 行革大綱の重点事項番号 | | 7 | 細々目 | 51 美術展覧会運営経費 |
| 担当部課 | コード | 11300 | | 担当者氏名 |
| | 名称 | 企画総務部企画課 | | |
| | | 福島 礼子 | 連絡先 | 22 - 9621 (内線) 2115 |

事務事業の概要(Plan)

| | | |
|-----------|---|-------|
| 対象(誰を、何を) | 絵画・写真・書道・彫塑・工芸各部門(造形芸術)活動に取り組む人 | ※対象件数 |
| 成果(どうする) | 市民の美術に関する関心を深め、作品を発表する場を提供することにより、芸術文化の創造に積極的に取り組む態度を養う。 | |
| 根拠法令・要綱等 | | |
| 開始年度 | 平成 17 年度 | 関連事業 |
| 終了年度 | 平成 年度 | |
| H21 事業内容 | 造形芸術等の有識者により運営委員会を組織し、事業計画等を審議 絵画・彫塑工芸・写真・書道の各部門の作品を募集 ポスターを製作し、自治会掲示板、市内文化施設等へ掲示 公開審査会を実施し、入賞、入選した作品、審査員の作品、運営委員の作品を展示 入賞者を対象に表彰式を開催 審査員による作品講評会を実施 | |
| 社会情勢の変化等 | 平成17年度から絵画・彫塑・工芸・写真・書道の5部門により運営を行っていたが、平成20年度から彫塑と工芸部門を統合。運営委員は平成18年度までは絵画・写真・書道は各2名、彫塑・工芸は各1名(計8名)であったが、平成19年度から部門の均整を図るため各2名(計10名)に増員、平成20年度からは部門の統合に伴い8名に減員した。審査員は平成19年度までは15名、平成20年度から13名に委嘱している。平成20年度から審査員謝礼を報酬に変更した。 | |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

| | |
|--------------|----|
| 1 建設用地 | |
| 2 建設面積(延床面積) | |
| 3 規模・構造 | |
| 4 総事業費 | 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

| | |
|-----------|----|
| 1 運営主体 | |
| 委託先 | |
| 2 配置人員 | 人 |
| 3 年間運営費 | 千円 |
| 4 市内の類似施設 | |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|-------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 運営委員会 | 目標 | 回 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| | 実績 | | 2 | 2 | | |
| 審査会 | 目標 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 実績 | | 1 | 1 | | |

| 成果指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|------|-----|-----------------------------|----|-----|------|-----|------|
| | | | | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 出品者数 | | 造形芸術活動に取り組む人を増やす | 人 | 目標 | 180 | 目標 | 180 |
| | | | | 実績 | 151 | 実績 | 153 |
| 来場者数 | | 優れた作品を鑑賞する機会を提供し、造形芸術の向上を図る | 人 | 目標 | 2250 | 目標 | 2250 |
| | | | | 実績 | 2161 | 実績 | 1798 |

| 投入コスト | H20 決算 | H21 決算 | H22 当初予算 | H23 当初要求 |
|--------------|------------|------------|------------|------------|
| | | | | |
| 直接事業費計(A) | 791 | 919 | 996 | 996 |
| Aの財源内訳 | 国庫支出金 | | | |
| | 県支出金 | | | |
| | 地方債 | | | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 |
| 一般財源 | 791 | 919 | 996 | 996 |
| 事業投入人件費(B) | 0.3人 2,160 | 0.3人 2,160 | 0.3人 2,160 | 0.3人 2,160 |
| フルコスト(A)+(B) | 2,951 | 3,079 | 3,156 | 3,156 |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) | | 備考欄(特記事項) |
|---|---|---|
| 必要性 | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 | |
| | 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 | |
| | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 | ○ |
| | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 | |
| | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | |
| 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 | | |
| 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 | | |
| 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 | | |
| 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 | | |
| 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 | | |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 | | |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 | | |
| 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 | | |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 | | |
| 有効性 | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。 | ○ 造形芸術分野において、市民の創作意欲が高まり活動内容が一層向上するとともに、造形芸術への関心が高まる。 |
| 達成度 | 当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】 | 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 市民の美術への関心を高めるため、市展のPRのため、ポスター、ケーブルTV、広報等あらゆる方法でPRに努める。 |
| 効率性 | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 | |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

| | |
|----------|---|
| 改善策 | 市内全域からより多く作品が出品されるよう、さらに市民に周知、PRするため、各地域の文化団体、市内の高校に募集要綱を送付する。 |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 市内の文化団体及び高等学校へ募集要項を送付し、積極的な作品出品を呼びかけた。 |

今後の方向性(Action)

| | |
|------------------------------|---|
| 担当課長氏名 | 増田 基生 |
| 【方向性】 | 現状維持 |
| 【理由】 | 市民の造形芸術の創作意欲を高め、市民文化の向上に寄与する事業として継続する。 |
| 現時点における課題、その他 | 旧上野市の「上野市民美術展覧会」を合併後も引き継いで開催しているため、出品者の大部分が上野地区内となっている。出品者の年齢層は50~70代が中心となっており、若い世代からの出品者が少ない。出品者数の増加と年齢層の拡大を検討する必要がある。 |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 22年度から市広報や行政チャンネル放送を活用して事業周知を行い、出品者の増加と出品者層の拡大に努める。 |